

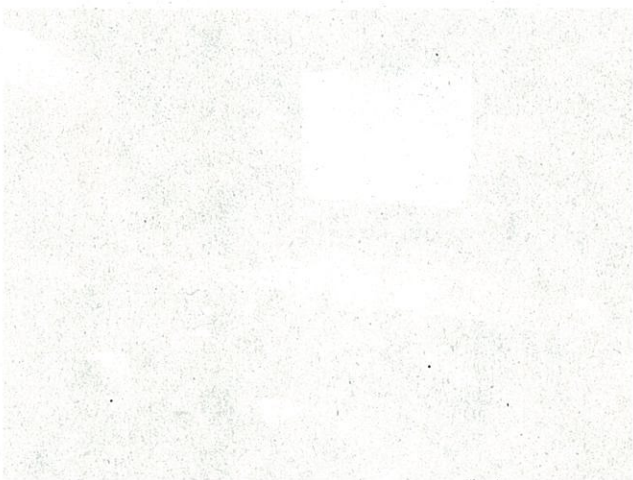
報告事項ケ

県内の文化財に関する行事の開催結果について

県内の文化財に関する行事の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年12月27日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一



1 県選択無形民俗文化財「弓浜半島のトンド」調査報告講演会の開催結果について

平成23年度に、鳥取県として初めて記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択された「弓浜半島のトンド」については、それに先立つ平成21年度から24年度にかけて調査を行ってきました。このたびその調査成果をまとめた報告書を刊行したことを機に、市民にとって正月の行事として根付いているトンドについて紹介し、あらためて行事の意味などを認識していただくため、調査報告講演会を開催しました。

- 1 日 時 平成24年12月15日（土）午後1時30分～4時
- 2 場 所 鳥取県立夢みなとタワー 夢みなとシアター
- 3 参加者 90人
- 4 主催等 鳥取県教育委員会主催、米子市教育委員会・境港市教育委員会共催

5 内 容

映像上映「旗ヶ崎のトンド」

講演① 「弓浜半島のトンド」坂田友宏（米子工業高等専門学校名誉教授）
「弓浜半島のトンド」に係る諸行事（トンド飾りや神幸行列）などを、
地域的な特徴も踏まえながら解説していただいた。

講演② 「生活に根付くトンド」鶴 理恵子（吉備国際大学准教授）
地域の方々がトンドを続けていくにあたってどのように取り組んでいる
のか、現状と課題を紹介していただいた。



展示風景



講演風景

2 三徳山シンポジウムの開催結果について

三徳山地域の国立公園編入を契機に、県民の皆さんにあらためて三徳山地域の風致景観・自然環境のすばらしさを認識していただくことを目的としたシンポジウム『三徳山の魅力を語りつくそう！～国立公園編入を目指して～』を開催しました（鳥取県（公園自然課、観光政策課）、三徳山世界遺産登録推進協議会主催）。

1 日時 12月1日（土）午前10時～午後0時30分

2 場所 倉吉未来中心セミナールーム3

3 参加者 162人

4 主催 鳥取県、三徳山世界遺産登録運動推進協議会

5 内容 基調講演 「三徳山三佛寺投入堂～自然と建築の関係～」

工学院大学教授 藤森 照信

※日本やヨーロッパの自然信仰などに触れ、目に見える形で自然信仰が残っている投入堂の希少性などについて講演をいただいた。

パネルディスカッション 「三徳山の魅力を語りつくそう！」

コーディネーター 日置佳之（鳥取大学教授）

パネリスト 藤森照信（工学院大学教授）

水谷知生（環境省中国四国地方環境事務所長）

福代 宏（鳥取県立博物館主任学芸員）

吉田秀光（三朝町長）

平井伸治（鳥取県知事）

※それぞれの立場から自然と文化の両面で三徳山の価値や魅力を語っていただいた。



基調講演



パネルディスカッション

3 「中国山地たたらサミット in 奥日野」の開催結果について

中国山地一円で操業されていた「たたら製鉄」は、近年歴史の見直しや再評価が各地で取り組まれており、「たたら」による活用事業が盛んに行われています。中国山地たたらサミットでは各地で行われている「たたら製鉄」を活かした取り組み事例の発表のほか、各団体間のネットワーク化やたたらを未来に伝える方策等についてパネルディスカッション等を行いました。

- 1 開催日 12月8日(土)・9日(日)
- 2 場所 日南町総合文化センター(日野郡日南町霞)
- 3 参加者 300人
- 4 主催等 伯耆国たたら顕彰会主催、中国山地たたらサミット実行委員会共催
- 5 内容
《8日》 現地視察、交流会議、交流会
《9日》

「中国山地たたらネットワーク会議」

参加団体の活動事例発表

「中国山地たたらサミット in 奥日野」

開会セレモニー

ミニレクチャー 講師 すぎはらみきを

ミニドラマ 『小説「TATARA」その後』

記念講演 『産業遺産としての「たたら」をどう生かすか』
西村幸夫(東京大学副学長)

※世界遺産の候補となっている富岡製糸場と絹産業遺産群を例に、歴史遺産が人々の生活に与えた影響といった物語の重要性などについて講演をいただいた。

パネルディスカッション『「たたら」の価値とその利活用を考える』

コーディネーター 渡辺一正(NPO市民文化財ネットワーク鳥取理事長)

パネリスト 西村幸夫

野原建一(広島県立大学名誉教授)

島津邦弘(元中国新聞解説委員、元比治山大学教授、NPO法人中国山地やまなみ大学副学長)

穴澤義功(製鉄遺跡研究会代表、たたら研究会全国委員)

増原 聡(日南町長)

※それぞれの立場でたたらの価値とその利活用について、全国の状況を例に出しながらパネル討論を展開した。



交流会議の様子



ミニドラマ



シンポジウムの様子

4 鳥取大学と鳥取県の合同シンポジウムの開催結果について

鳥取市民にとってなじみのある湖山池は、さまざまな時代に人の活動の舞台となってきたことがわかってきています。そこでこれまでの人と湖山池がつくり出す環境との多様な関わり、その利用の歴史を明らかにし、あらためて湖山池の地域にとって占める重要性を認識していただくことを目的としたシンポジウム『湖山池をめぐる歴史的環境』を開催しました（鳥取大学地域学部、鳥取県教育委員会共催）。

1 日 時 12月8日（土）午後1時30分～5時

2 場 所 とりぎん文化会館第1会議室

3 参加者 70人

4 主 催 鳥取大学、鳥取県教育委員会

5 内 容

基調講演 「高緯度地域の資源利用

—東北・北海道・千島・カムチャッカー—

高橋 克範（北海道大学大学院 准教授）

研究報告①「稲作導入期前後の古環境とその利用」

中原 計（鳥取大学 准教授）

研究報告②「湖山池と中世社会—人とモノの動きからみる—」

中森 祥（鳥取県教育委員会）

研究報告③「湖山池利用の歴史的変遷」

錦織 勤（鳥取大学 教授）



基調講演



会場風景

5 「とっとり発掘物語展 ～出土品が語る地域の歴史～」の開催結果について

県内の遺跡や出土品から地域の歴史を展示紹介した「とっとり発掘物語」について、下記のとおり開催しました。

【「とっとり発掘物語展」の概要】

(1) 会場・会期

会場： 日南町美術館（日野郡日南町霞 785）

会期： 平成24年11月10日（土）～12月9日（日）

(2) 展示遺跡

- ・ 下市築地峯東通第2遺跡（大山町） ・ 帝国製鉄砥波工場（日南町）
- ・ 豊成叶林遺跡（大山町） ・ 桂見遺跡（鳥取市）・ 史跡青谷上寺地遺跡（鳥取市）
- ・ 梅田萱峯遺跡（琴浦町ほか） ・ 霞17号墳 ・ 内ノ倉山横穴群（日南町）
- ・ 宮内蛇巻遺跡（日南町） ・ 下石見羽谷遺跡（日南町）

(3) 主な展示品・点数

ナイフ形石器（旧石器時代）、縄文土器・石器（縄文時代）、星雲文鏡（弥生時代）、内行花文鏡・鉄剣・玉類（古墳時代）、須恵器・炉底塊（平安時代）など

（総数約150点）

(4) 総入場者数 1,147人

(5) 主催 鳥取県埋蔵文化財センター

(6) 関連行事 文化財主事による「考古学講演会」の実施（参加総数 120人）

日時	演題	講師
11/10（土）14:00～15:00	「魏志倭人伝」と青谷上寺地遺跡	所長 久保穰二郎
11/18（日）13:30～14:30	3万年前のムラ ～豊成叶林遺跡～	副主幹 濱隆造
12/1（土）13:30～14:30	日南町の遺跡 ～霞17号墳を中心に～	文化財主事 高橋章司
12/8（土）13:30～14:30	古代・伯耆の製鉄遺跡	文化財主事 坂本嘉和

【展覧会・講演会実施状況】



[日南小学校6年生への展示解説]



[考古学講演会]